

花王 購入電力の再生エネルギー比率 100%目標年を早期化

花王は、「脱炭素」を加速するため、購入電力の再生可能エネルギー比率100%目標年を早期化する。日本では2023年まで、グローバルでは2025年までに、すべての購入電力を再生可能エネルギーにすべく、取り組みを進めていく。

同社では、地球温暖化の原因となる温室効果ガス排出量の削減を積極的に入を開始し、現在、花王に進めており、グローバル全拠点の温室効果ガス排出量を2030年までに22%削減(2017年比)することを目標に、自家消費用太陽光発電設備の導入と、購入電力の再生可能エネルギー化を推進してきた。

自家消費用太陽光発電については、2020年に新たに「すみだ事業場」のピリピナス



フィリピンのピリピナス花王

購入電力については、まずは2025年までに

「ライオン山梨の森」の第4期森林整備協定を締結

ライオン

までにはグローバル全体において、すべてを再生可能エネルギーにすることを目標に掲げて取り組みを進めていた。2020年末時点で購入電力の再生可能エネルギーの比率が、日本で65%、グローバル全体で41%に達した。また、2020年に中国の4工場が加わり、日本の4工場、欧州の全9工場、アメリカの1工場の計18工場において、購入電力の再生可能エネルギー比率100%を達成している。

ライオンはこのほど、水資源保護や従業員の環境意識の醸成を目的として、山梨県山梨市で森林整備活動を行っている活動のさらなる発展に向け、新たな活動場所への移転を含む森林整備協定を山梨市、峡東森林組合、公益財団法人オイスカとの間で更新・締結した。

同社では「洗うこと」を通じて、常に水と深い



林整備活動を行っている。「ライオン山梨の森」活動は、2006年から山梨市水口地区にある市

ユニ・チャーム

四国工場豊浜製造所の全電力を再生エネルギーへ切替

ユニ・チャームは、四達し、四国工場豊浜製造所(香川県観音寺市)にて2021年4月から全電力を実質的に再生可能エネルギーへ切り替えている。これにより、年間使用電力(500万kWh)相当の全てを、再生可能エネルギーへ切り替え、工場で排出する二酸化炭素を年間約2000ton- CO_2 /削減することを目指す。

有林で行ってきたが、さらなる活動の充実を目指し、今回、牧丘地区にある約2784㎡の市有林に活動の場を移し、山梨市など協定4者で共同して森林整備活動を行うことにした。活動がしやすい立地になることから、森林整備活動だけでなく環境教育にも力を入れ、より幅広い人々との体験・交流の場として活動を拡げている。



bacterico(バクテリコ) 代表取締役

菅沼 名津季 氏



内細菌の研究・開発技術を強みに、腸内細菌検査キットやサプリメントなどを開発・販売し、パーソナルな腸活をサポートする。

そのビジネスプランは経済産業省・JETROが主催するイノベーション育成プログラム「始動NextInnovator」や、研究に取り組んでい

腸内細菌の研究を強みに起業

腸活のパーソナライズ化を実現

「腸活」を軸にレストランなどの食事メニューの監修も行っている。菅沼氏は高校時代、「世界の人々を健康に幸せにしたい」という夢を描いて研究者の道に進んだ。バクテリコは腸内細菌の技術・ノウハウを企業と一緒に、新しいことに挑戦していきたくて意欲を不す。(管)



四国工場豊浜製造所

四国工場豊浜製造所の再生可能エネルギーへの切り替えは、国内では九州工場、伊丹工場に続いて3例目となる。